

第5学年2組 外国語科学習指導案

令和5年11月24日（金）

指導者 瀧川 智子

ALT Sarah Peterson

- 1 単元名 “Where is your favorite place?”
 ～サラ先生を松江のおすすめの場所へ道案内しよう。～
 (NEW HORIZON Elementary English Course 5 Unit 5)

2 単元の目標

初めて松江に来たサラ先生を松江のおすすめの場所へ道案内するために、その場所の位置やたずね方や答え方などについて、短い話を聞いてその概要が分かったり、道案内や場所の位置、おすすめの理由などを伝え合ったりすることができる。

3 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようになる。
話すこと (やり取り)	ア 基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それに応じたりすることができるようにする。

※本単元における「聞くこと」については、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。

4 言語材料

Where is～? Go straight for～block(s). Turn left/right(at the～corner).

It's by/in/on/under～.

You can see it on your left/right. You can see/eat/enjoy～.

日常生活や建物、道案内、位置、松江市のおすすめの場所に関する語句等。

5 単元の評価規準

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
話すこと (やり取り)	<知識>Where is～? Go straight for～block(s). Turn left/right(at the～corner). It's in/by/on/under～. You can see it on your left/right. You can see/eat/enjoy～. 日常生活や建物、松江市のおすすめの場所に関する語句等について理解している。 <技能>松江のおすすめの場所への道案内などについて、Where is～? Go straight for～block(s). Turn left/right(at the～corner). It's in/by/on/under～. You can see it on your left/right. You can see/eat/enjoy～. 日常生活や建物、位置、松江市のおすすめの場所に関する語句等を用いて、質問したり答えたりして、伝え合う技能を身に付けている。	サラ先生を松江市のおすすめの場所へ道案内するために、簡単な語句や基本的な表現を用いて、道案内や場所や位置、おすすめの理由などを伝え合っている。	サラ先生を松江市のおすすめの場所へ道案内するために、簡単な語句や基本的な表現を用いて、道案内や場所や位置、おすすめの理由などを伝え合おうとしている。

6 基盤

(1) 教材観

この単元は、建物や位置の言い方等を使って、道案内をする。前単元で、今年度新しく赴任してきたALTのサラ先生に、松江のおすすめの場所（お店、観光スポット等）を紹介している。この単元では、そのおすすめ場所への道案内をするという単元のゴールを設定し学習していく。目的・場面・状況をはっきりとさせ、単に道案内をするだけではなく、サラ先生が本当にその場所へ行けるようにするために、どう伝えたら良いのか考えたり、表現したりする単元である。案内する場所の近くにある建物や目印について話したり、地図を使って案内する等、既習の表現を使ったり、新出の単語を必要に応じてインプットしたりして、児童の伝えられる言葉やコミュニケーションの幅を広げることができる単元である。

(2) 児童観

本学級の児童は、外国語に興味関心のある児童が多く、授業では英語を使って話したい、聞き取ってみたいという意欲的な姿が多く見られる。どの授業でも、友だちの発表や言ったことに対して反応や相槌をうつという習慣が全体的にできており、外国語の授業でも友だちの発表ややり取りの際に、”O.K.” や” Nice.” などのリアクションをする児童も多い。一方で、意欲はあるがなかなか自分の伝えたいことを英語で表現することが難しく、不安からカタカナで読み仮名を書いたり、英語で話すことを諦めてしまったりする児童も見られる。何とかしなければという意識が高いため、困ったことがあると教師やALTに聞きに来たり、お互いに教え合ったりする姿も見られる。個に応じた支援を意識した授業を目指し、自分の伝えたいことが自信をもって伝えられるようにしていく必要がある。

(3) 指導観

本学園の外国語活動・外国語科の取組の重点として、①相手意識や目的意識が明確になる単元構想の工夫、②個に応じた支援場面の設定の2つがある。

① 相手意識や目的意識が明確になる単元構想の工夫

この単元のゴールは、「松江のおすすめの場所にサラ先生を道案内しよう。」としている。ここでは単元の入替えを行っており、前単元でUnit7として、今年度来日したばかりのALTのサラ先生に松江でのおすすめ場所を紹介している。この単元ではUnit5として、道案内をして実際にその場所へ行けるようやり取りすることを最終目標にすることで、相手意識や目的意識が明確になり、子どもたちは見通しをもって意欲的に活動に取り組むことができると考える。

② 個に応じた支援場面の設定

学びのユニバーサルデザインの視点から、一斉授業の中でも自分に合ったやり方や速さで取り組むことができるような「個に応じた支援」を意識した学習活動を取り入れている。本時では、デジタル教科書を使い、Let's Chantを自分にあった速度や回数でできるようにし、道案内等の表現に慣れ親しめるようにしている。また、Let's Watch and Thinkもあらかじめ教師とALTのやり取りを動画で撮影し、クローズアップで子どもたちが自分で操作して見ることができるようにしておく。分からないところを繰り返し再生したり、一時停止をしたりし、推測して聞くことができると考える。「何を言っているのか全く分からない。」「もう少し聞いたら分かりそうなのに。」といった児童のつまずきや不安を、一斉授業の中で少しずつ取り除いていくことで、伝えたいことを自信をもって話したり、聞いたりする力がつくと考えられる。

また、1時間目で児童がこの単元ですること・つけたい力を児童と共有する。単元の「がんばりシート」を配り、この単元で使う表現や、つけたい力を確認できるようにしておく。そうすることで、子ど

もたちが、何をできるようにしなければならないのか、何を頑張れば良いのか自分の学びを調整しやすくなるを考える。そしてふり返りの時間も大事にし、できたことの他に、「分からなかったこと・知りたいこと・困ったこと」を書けるようなスペースを用意し、教師も確認できるようにしておく。次の授業でその解決ができるよう教師が準備をしたり、児童が何を解決すればいいのか見通しがもてたりするようにしていきたい。

7 単元全体の流れ

時	目標◎ 活動・【】	評価			
		知	思	態	評価規準<評価方法>
1	◎サラ先生を松江のおすすめの場所へ道案内するために、建物の言い方や位置、場所の言い方や道案内の言い方を知る。 【Let's Watch and Think】 ・教師とALTの話聞き、単元のゴールを知る。 【Small Talk】 ・Where is the ○○? ・松江市の地図を使って、それぞれの建物や場所がどこにあるのか確認する。 【Word Link】 ・様々な場所や建物の言い方を知る。 【Let's Try①】 ・松江の地図を使って建物や場所を言ったり、道案内したりする。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。
2	◎サラ先生を松江のおすすめの場所へ道案内するために、位置、場所について話することができる。 【Small Talk】 ・Where is my pencil? ・by, in, on, under,などの使い方を知る。 【Let's Listen①】 ・位置について聞く。 【Let's Try②】 ・ものがどこにあるかby/on/in /underを使ってたずね合う。 【Let's Chant】 ・Go straight. ・Turn right.				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。
3	◎サラ先生を松江のおすすめの場所へ案内するために、建物や場所、位置等のたずね方・答え方を知り、それを使って道案内のやり取りをすることができる。 【Let's Chant】 ・Go straight. ・Turn right. 【Let's Sing】 ・Excuse me. 【Let's Watch and Think①】 ・松江の地図を使った道案内を見たり聞いたりする。 【Let's Try③】 ・ペアで、サラ先生に教えたいおすすめ場所への道案内をする。 【Let's Read and Write①】 ・サラ先生におすすめしたい場所の英語をなぞって書いてみる。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。
4	◎サラ先生を松江のおすすめの場所へ案内するために、バスや電車の乗り方の表現を知ったり、道案内のやり取りをしたりすることができる。 【Let's Chant】 ・Go straight. ・Turn right. 【Let's Sing】 ・Excuse me. 【Let's Listen②】 ・バスや電車の乗り方についての話を聞				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。

	<p>く。</p> <p>【Let' s Try④】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで、バスや電車の乗り方も含めた道案内をする。 				
5	<p>◎サラ先生を松江のおすすめの場所へ道案内するために、場所についてより詳しい情報を付け加えて話すことができる。</p> <p>【Let' s Chant】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Go straight. ・Turn right. <p>【Let' s Sing】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Excuse me. <p>【Let' s Watch and Think③】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師と ALT の道案内の動画を視聴する。 <p>【Let' s Try⑤】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おすすめ場所へのより詳しい道案内を考える。 ・友達の話などを参考にしながら、話したい内容について、話す内容や順番を簡単にメモしておく。 ・ペアで伝え合い、アドバイスし合う。 				<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p>
6	<p>◎サラ先生を松江のおすすめの場所へ道案内するために、地図を使って道案内したり、おすすめの理由などを入れたりして工夫して道案内のやり取りをすることができる。</p> <p>【Let' s Chant】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Go straight. ・Turn right. <p>【Let' s Sing】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Excuse me. <p>【Let' s Try⑥】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道案内のやり取りを聞き合ったり、ペアで道案内し合ったりする。 				<p>評価【話すこと（やり取り）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Where is～? Go straight for～block(s). Turn left/right(at the～corner). It's in/by/on/under～. You can see it on your left / right. You can see/eat/enjoy～. <p>日常生活や建物、松江市のおすすめの場所に関する語句等について理解することができる。＜知識＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松江のおすすめの場所への道案内などについて、Where is～? Go straight for～block(s). Turn left/right(at the～ corner). It's in/by/on/under～. You can see it on your left / right. You can see /eat/enjoy～. <p>日常生活や建物、位置、松江市のおすすめの場所に関する語句等を用いて、質問したり答えたりして、伝え合っている。＜技能＞</p>
7	<p>◎サラ先生に松江のおすすめの場所への道案内や、おすすめの理由等を、やり取りしながら伝えることができる。</p> <p>【Activity】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に一人ずつ、サラ先生を松江のおすすめの場所へ道案内する。(パフォーマンステスト) 				<p>評価【話すこと（やり取り）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サラ先生を松江市のおすすめの場所へ道案内するために、簡単な語句や基本的な表現を用いて、道案内や場所や位置、おすすめの理由などを伝え合っている。【思判表】(パフォーマンステスト、ふり返り) ・サラ先生に松江市のおすすめの場所へ道案内するために、簡単な語句や基本的な表現を用いて、道案内や場所や位置、おすすめの理由などを伝え合おうとしている。【主】(パフォーマンステスト、ふり返り)

8 本時の学習（5／7時間）

（1）目標 サラ先生を松江のおすすめの場所へ道案内するために、その場所についてより詳しい情報を付け加えて話すことができる。

（2）展開

学習場面と子どもの取組	学びの多様性 (予想される困難さ・つまづき)	教師の支援
<p>1. Greeting 挨拶, 日付, 天気を言う。</p> <p>2. Let's Chant / Let's Sing ・Go straight. ・Turn right. ・Excuse me.</p> <p>3. Let's Watch and Think② 松江の簡略地図を使った教師とALTの道案内の動画を視聴する。 A: Where is your favorite place? T: My favorite place is Kohikan. It's a cafe. A: Where is Kohikan? T: Turn left. Go straight... You can see it on your left. A: Oh, it's by the museum? T: No. It's by the Furyudo. You can drink coffee and tea. It's delicious. A: O.K. Nice.</p> <p>・It's by～. を使えば, さらに詳しく道案内できることに気付く。</p> <p>4. 本時のめあてを確認する。</p>	<p>・速くて言葉がうまく出てこない。 ・もっとゆっくり言いたい。</p> <p>・話していることが速くて聞き取れない。 ・どの言葉が何を表しているのか分からない。 ・合っているのか自信が無い。</p>	<p>・最初の1回は全員で一緒に歌い, 次の1回は個人でデジタル教科書を使い, 自分に合った速度でできるようにする。</p> <p>・1回目は全員で一緒に視聴し, 分かったことや聞き取れなかったこと等を明確にする。2回目は個人のクロームブックで動画を止めたりくり返し視聴したりできるようにする。</p> <p>オプション</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で考える ・友だちと話す。 ・動画を止めながら見る。 ・速度を選ぶ。 ・メモを取りながら見る。 </div> <p>・最後は全員で確認し, 自分が伝えたい場所を正確に伝えるために, 近くに何があるのか伝えるとより分かりやすいことに気付けるようにする。</p>
<p>サラ先生が迷わず目的地に着けるように, 近くにあるものなどを付け加えて道案内をしよう。</p>		
<p>5. Let's Try⑤ [1] 自分の考えるおすすめの場合までの道案内や, 近くに何か分かりやすい目印がないか考える。</p>	<p>・近くに何があるか分からない。 ・建物や場所の言い方が分からない。 ・これまでにやってきた表現がよく分からない・忘れた。 ・by等の言い方でどう使えばいいか分からない。</p>	<p>オプション</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・教師やALTに聞く。 ・友だちと話す。 ・クロームブックで調べる。 ・これまでのメモを見る。 ・メモを取りながら見る。 </div> <p>・これまでにでてきた表現が分かるよう黒板やクロームブックに提示しておき, いつでも確認できるようにしておく。</p>

